

第 74 回「山形県内企業の景気動向調査」速報

(令和 5 年 2 月調査)

～景況感は足踏み状態。先行きは依然として慎重姿勢～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲3.8（前回調査比 8.0 ポイント下落）と一進一退の推移となり、4 期ぶりにマイナスに転じた。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「資金繰り」はほぼ横ばい、「売上高」と「営業利益」は悪化となり、「人員・人手」はプラス幅が縮小した。
- **業種別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が▲24.4（前回調査比 12.9 ポイント下落）、製造業が 7.5（前回調査比 4.5 ポイント下落）、卸・小売業が▲5.2（前回調査比 1.5 ポイント上昇）、サービス業が 3.5（前回調査比 17.7 ポイント下落）と、卸・小売業は改善となった一方、建設業、製造業、サービス業は悪化となった。
- **地域別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲5.8（前回調査比 1.3 ポイント上昇）、村山北部が 11.8（前回調査比 8.9 ポイント下落）、最上が▲5.4（前回調査比 10.7 ポイント下落）、置賜が▲9.5（前回調査比 17.5 ポイント下落）、庄内田川が 3.9（前回調査比 0.4 ポイント下落）、庄内飽海が▲16.0（前回調査比 20.3 ポイント下落）と、庄内田川はほぼ横ばい、村山南部は改善、村山北部、最上、置賜、庄内飽海で悪化となった。
- **先行き見通し**は「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲19.2（今回調査比 15.4 ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。

【特別調査】

- **雇用調整**について尋ねたところ、全業種でみると「実施している（した）」と回答した企業の割合は「残業規制」が 29.7%（昨年比 3.1 ポイント低下）、「ワークシェアリング」が 10.0%（昨年比 3.8 ポイント低下）、「従業員の削減」が 2.8%（昨年比 1.4 ポイント低下）、「従業員の中途採用」が 49.9%（昨年比 5.4 ポイント上昇）と、昨年に比べ、「残業規制」「ワークシェアリング」「従業員の削減」の割合は低下し、「従業員の中途採用」の割合は上昇した。
- **新卒者の採用状況**について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種でみると 44.0%（昨年調査比 3.4 ポイント上昇）と 2 年連続で上昇となった。

令和 5 年 3 月

株式会社 フィデア情報総研

目次

I.	県内企業の業況	1
1.	概況	1
2.	業種別の動向	2
(1)	業種別の概況	2
(2)	業種別 D I 値の動向	3
①	建設業	3
②	製造業	4
③	卸・小売業	5
④	サービス業	6
3.	地域別の動向	7
(1)	地域別の概況	7
(2)	地域別 D I 値の動向	8
①	村山南部	8
②	村山北部	9
③	最 上	10
④	置 賜	11
⑤	庄内田川	12
⑥	庄内飽海	13
II.	景気の天気予報図	14
III.	特別調査	15
1.	雇用調整について	15
2.	新卒者の採用状況について	17
	<参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率>	18
	<参考資料Ⅱ：調査の概要>	18

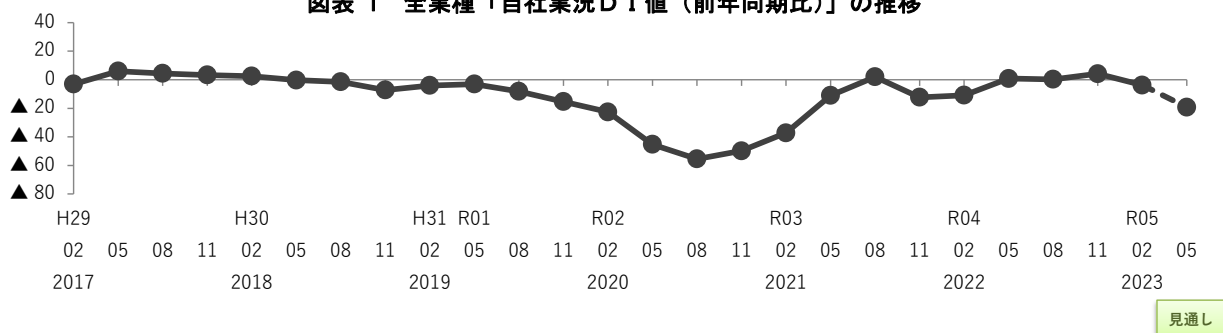
I. 県内企業の業況

1. 概況

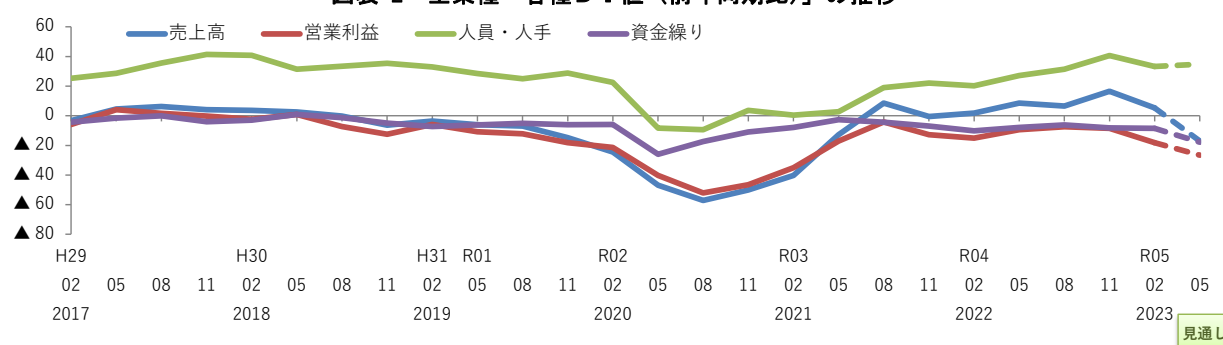
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲3.8（前回調査比 8.0 ポイント下落）と一進一退の推移となり、4 期ぶりにマイナスに転じた。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「資金繰り」はほぼ横ばい、「売上高」と「営業利益」は悪化となり、「人員・人手」はプラス幅が縮小した。

先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲19.2（今回調査比 15.4 ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。行動制限の緩和が進む中、持ち直しの動きがみられる一方、電気料金・原材料費の高騰等による企業の負担感は依然強く、総じてみれば足踏み状態が続いている。また、ロシア、ウクライナをはじめとする海外情勢が国内経済に及ぼす影響を注視すべき状況などを踏まえて、先行きは、引き続き慎重な見通しになるとみられる。

図表 1 全業種「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 2 全業種「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

山形県 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	全業種	前回調査比	前回調査予測				
R 04. 02 (n=384)	▲ 10. 9	(1. 4)	▲ 9. 1	1. 8	▲ 15. 1	20. 3	▲ 10. 2
R 04. 05 (n=406)	0. 8	(11. 7)	▲ 28. 9	8. 6	▲ 9. 4	27. 1	▲ 7. 9
R 04. 08 (n=390)	0. 3	(▲ 0. 5)	▲ 10. 6	6. 6	▲ 7. 4	31. 5	▲ 6. 1
R 04. 11 (n=379)	4. 2	(3. 9)	▲ 14. 1	16. 6	▲ 8. 5	40. 7	▲ 8. 2
R 05. 02 (n=391)	▲ 3. 8	(▲ 8. 0)	▲ 14. 0	5. 3	▲ 18. 2	33. 3	▲ 8. 4
前回調査比	-	-	-	(▲ 11. 3)	(▲ 9. 7)	(▲ 7. 4)	(▲ 0. 2)
先行き見通し	▲ 19. 2	-	-	▲ 17. 1	▲ 26. 6	34. 8	▲ 17. 9
今回調査比	(▲ 15. 4)	-	-	(▲ 22. 4)	(▲ 8. 4)	(1. 5)	(▲ 9. 5)

※「売上高」DI値は建設業の「完成工事高」を含んだ数値

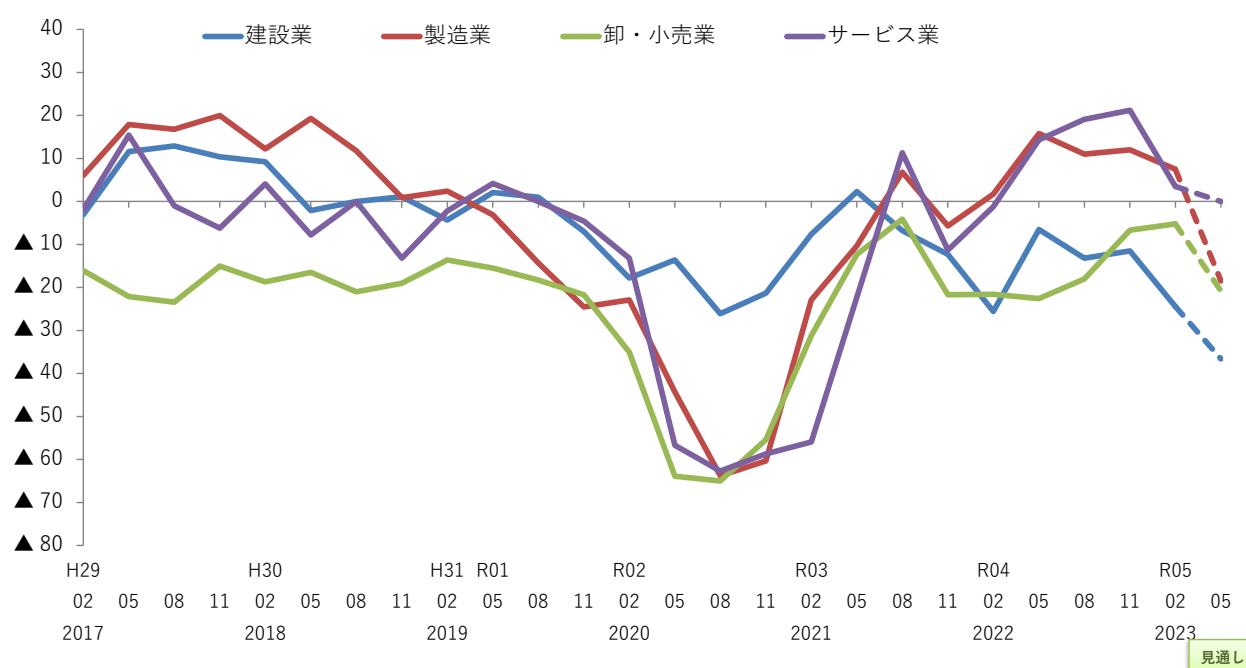
2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が▲24.4（前回調査比 12.9 ポイント下落）、製造業が 7.5（前回調査比 4.5 ポイント下落）、卸・小売業が▲5.2（前回調査比 1.5 ポイント上昇）、サービス業が 3.5（前回調査比 17.7 ポイント下落）と、卸・小売業は改善となった一方、建設業、製造業、サービス業は悪化となった。

業況の先行き見通しは、すべての業種で悪化の見込みとなっている。

図表 3 業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
R 04. 02 (n=384)	▲ 10.9	▲ 25.6	1.7	▲ 21.6	▲ 1.2
R 04. 05 (n=406)	0.8	▲ 6.5	15.8	▲ 22.6	14.3
R 04. 08 (n=390)	0.3	▲ 13.2	11.0	▲ 18.0	19.1
R 04. 11 (n=379)	4.2	▲ 11.5	12.0	▲ 6.7	21.2
R 05. 02 (n=391)	▲ 3.8	▲ 24.4	7.5	▲ 5.2	3.5
前回調査比	(▲ 8.0)	(▲ 12.9)	(▲ 4.5)	(1.5)	(▲ 17.7)
先行き見通し	▲ 19.2	▲ 36.6	▲ 18.5	▲ 20.8	0.0
今回調査比	(▲ 15.4)	(▲ 12.2)	(▲ 26.0)	(▲ 15.6)	(▲ 3.5)

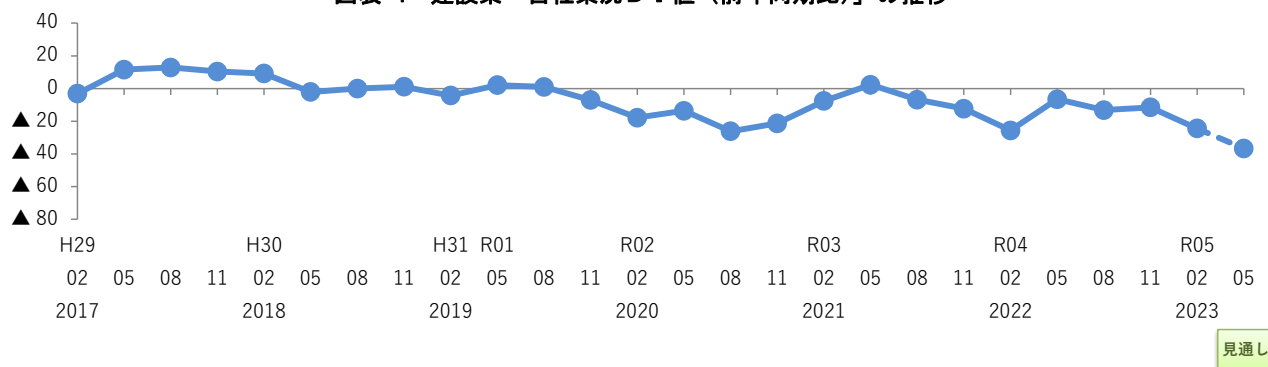
(2) 業種別 D I 値の動向

① 建設業

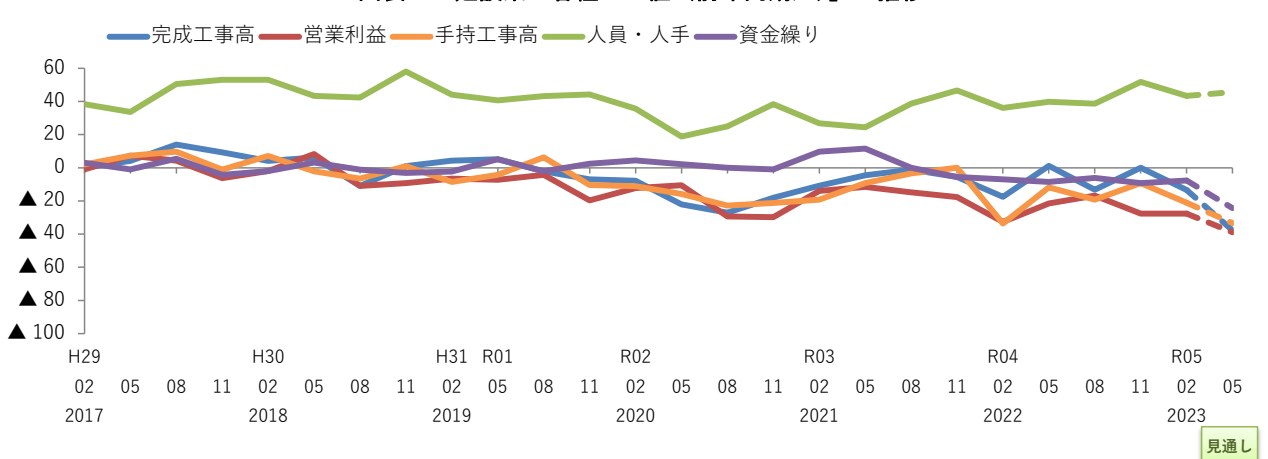
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲24.4（前回調査比 12.9 ポイント下落）と、一進一退の推移となっている。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「営業利益」はほぼ横ばい、「資金繰り」は改善、「完成工事高」と「手持工事高」で悪化となった。「人員・人手」は 2 期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントによると、労務費・光熱費の上昇に加え、資材価格の高止まりが続いていることから、収益環境は依然厳しい状況にあることがうかがえる。また、民間工事、住宅新築が控えめな傾向にあるため、利益の確保において、危機感を強めているとする内容が複数みられた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲36.6（今回調査比 12.2 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

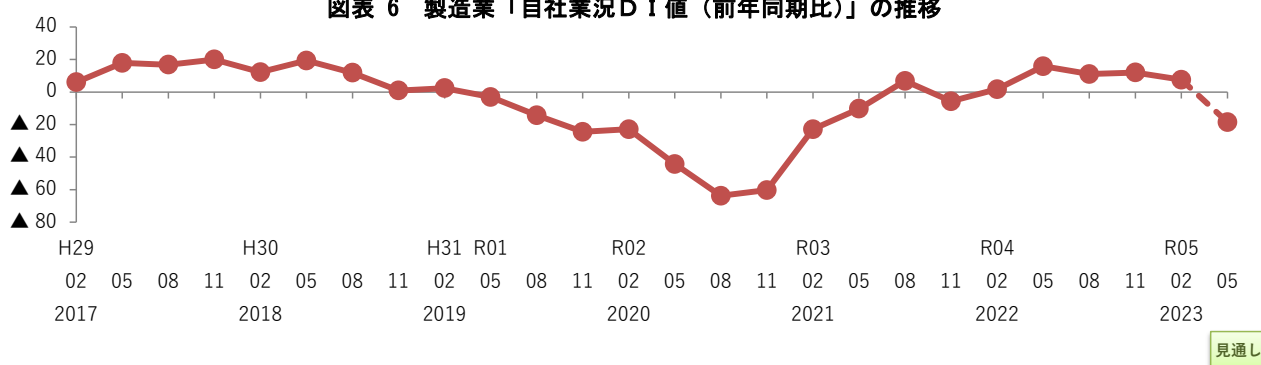
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
R 04. 02 (n=86)	▲ 25.6	(▲ 13. 3)	▲ 23. 3	▲ 17. 5	▲ 32. 6	▲ 33. 7	36. 1	▲ 7. 0
R 04. 05 (n=93)	▲ 6. 5	(19. 1)	▲ 41. 8	1. 1	▲ 21. 5	▲ 11. 8	39. 8	▲ 8. 6
R 04. 08 (n=83)	▲ 13. 2	(▲ 6. 7)	▲ 26. 8	▲ 13. 2	▲ 16. 8	▲ 19. 2	38. 6	▲ 6. 1
R 04. 11 (n=87)	▲ 11. 5	(1. 7)	▲ 22. 9	0. 0	▲ 27. 6	▲ 9. 2	51. 7	▲ 9. 2
R 05. 02 (n=90)	▲ 24. 4	(▲ 12. 9)	▲ 27. 6	▲ 13. 4	▲ 27. 7	▲ 21. 1	43. 3	▲ 7. 7
前回調査比	－	－	－	(▲ 13. 4)	(▲ 0. 1)	(▲ 11. 9)	(▲ 8. 4)	(1. 5)
先行き見通し	▲ 36. 6	－	－	▲ 37. 8	▲ 38. 9	▲ 33. 4	45. 6	▲ 24. 4
今回調査比	(▲ 12. 2)	－	－	(▲ 24. 4)	(▲ 11. 2)	(▲ 12. 3)	(2. 3)	(▲ 16. 7)

② 製造業

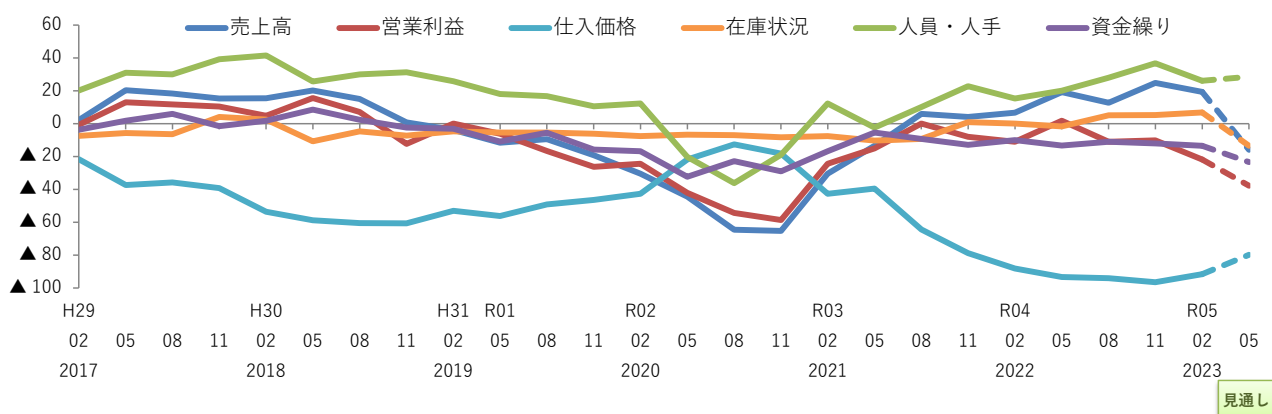
「自社の業況DI値（前年同期比）」は7.5（前回調査比4.5ポイント下落）と、一進一退の推移となっている。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「仕入価格」と「在庫状況」は改善、「売上高」「営業利益」「資金繰り」の3項目は悪化となった。「人員・人手」は4期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントをみると、調達難の長期化、電気料金や原材料費の高騰による負担増が進んでおり、業況は引き続き厳しいとする内容が目立った。半導体関連では、一部で需要の減退や設備投資抑制の動きがみられ、先行きへの警戒感につながっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲18.5（今回調査比26.0ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

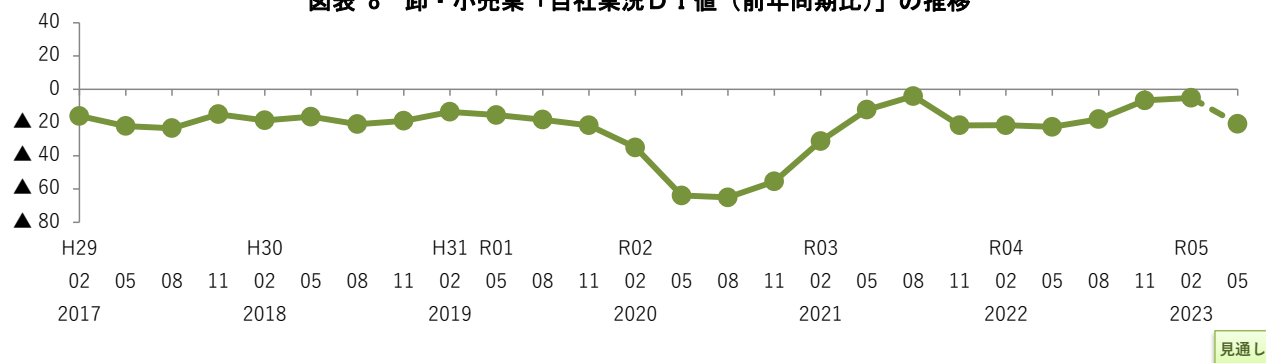
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業 利益	仕入 価格	在庫 状況	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測							
R 04. 02 (n=118)	1.7	(7.4)	0.8	6.7	▲ 11.0	▲ 88.2	0.0	15.3	▲ 10.1
R 04. 05 (n=120)	15.8	(14.1)	▲ 17.8	19.2	1.7	▲ 93.4	▲ 1.7	20.0	▲ 13.3
R 04. 08 (n=118)	11.0	(▲ 4.8)	▲ 5.9	12.7	▲ 11.0	▲ 94.1	5.1	28.0	▲ 11.0
R 04. 11 (n=117)	12.0	(1.0)	▲ 10.2	24.8	▲ 10.2	▲ 96.6	5.2	36.7	▲ 12.0
R 05. 02 (n=119)	7.5	(▲ 4.5)	▲ 2.6	19.3	▲ 21.8	▲ 91.6	6.7	26.1	▲ 13.4
前回調査比	-	-	-	(▲ 5.5)	(▲ 11.6)	(5.0)	(1.5)	(▲ 10.6)	(▲ 1.4)
先行き見通し	▲ 18.5	-	-	▲ 16.0	▲ 37.8	▲ 79.8	▲ 13.4	28.6	▲ 23.5
今回調査比	(▲ 26.0)	-	-	(▲ 35.3)	(▲ 16.0)	(11.8)	(▲ 20.2)	(2.5)	(▲ 10.1)

③ 卸・小売業

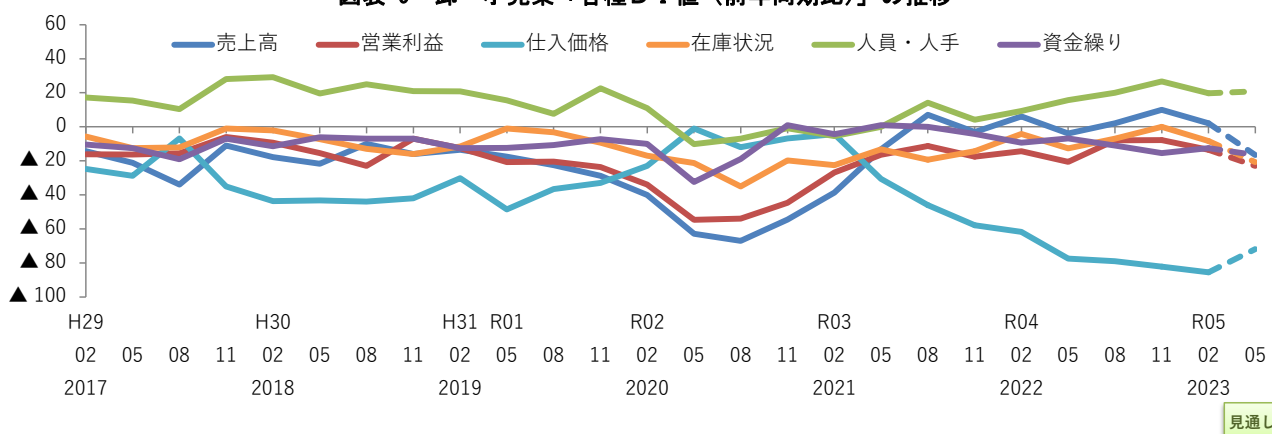
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲5.2（前回調査比 1.5 ポイント上昇）と小幅ながら 3 期連続の改善となった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「資金繰り」は改善したものの、「売上高」「営業利益」「仕入価格」「在庫状況」の 4 項目は悪化となった。「人員・人手」は 5 期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントによると、家電製品販売業などでは、新型コロナの影響が小さくなり、売り上げがコロナ禍前に戻りつつある企業もある一方で、物価高に伴う買い控えの動きがみられ、今後の売り上げ低下が懸念されるとする回答も複数寄せられた。また、仕入価格の上昇が依然続いており、経費の増加、利益の圧迫による収益悪化が不安視されている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲20.8（今回調査比 15.6 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

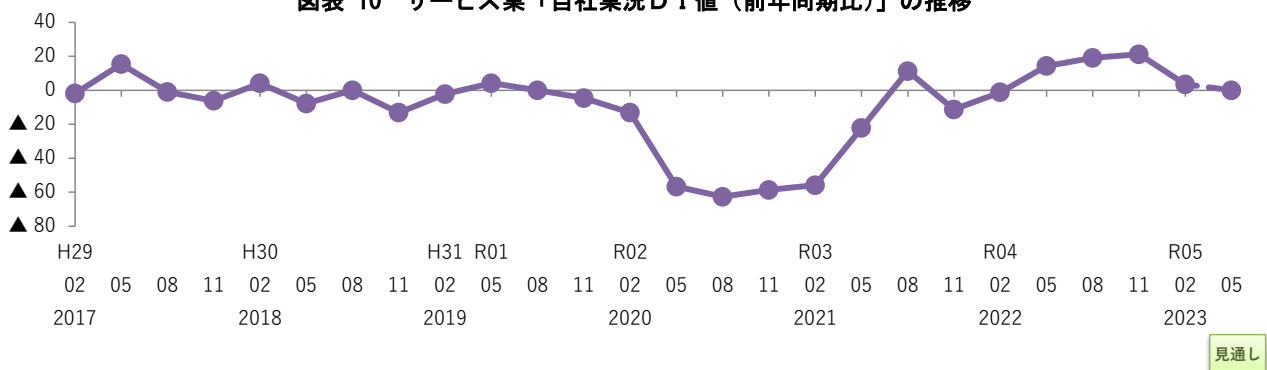
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員・人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
R 04. 02 (n=97)	▲ 21. 6	(0. 1)	▲ 12. 4	6. 1	▲ 14. 4	▲ 61. 8	▲ 4. 2	9. 3	▲ 9. 3
R 04. 05 (n=102)	▲ 22. 6	(▲ 1. 0)	▲ 33. 0	▲ 3. 9	▲ 20. 6	▲ 77. 4	▲ 12. 7	15. 7	▲ 6. 8
R 04. 08 (n=100)	▲ 18. 0	(4. 6)	▲ 17. 7	2. 0	▲ 8. 0	▲ 79. 0	▲ 7. 0	20. 0	▲ 11. 0
R 04. 11 (n=90)	▲ 6. 7	(11. 3)	▲ 20. 0	10. 0	▲ 7. 8	▲ 82. 2	0. 0	26. 6	▲ 15. 5
R 05. 02 (n=96)	▲ 5. 2	(1. 5)	▲ 22. 3	2. 1	▲ 13. 5	▲ 85. 5	▲ 8. 4	19. 7	▲ 12. 5
前回調査比	-	-	-	(▲ 7. 9)	(▲ 5. 7)	(▲ 3. 3)	(▲ 8. 4)	(▲ 6. 9)	(3. 0)
先行き見通し	▲ 20. 8	-	-	▲ 16. 6	▲ 22. 9	▲ 71. 9	▲ 20. 8	20. 8	▲ 16. 6
今回調査比	(▲ 15. 6)	-	-	(▲ 18. 7)	(▲ 9. 4)	(13. 6)	(▲ 12. 4)	(1. 1)	(▲ 4. 1)

④ サービス業

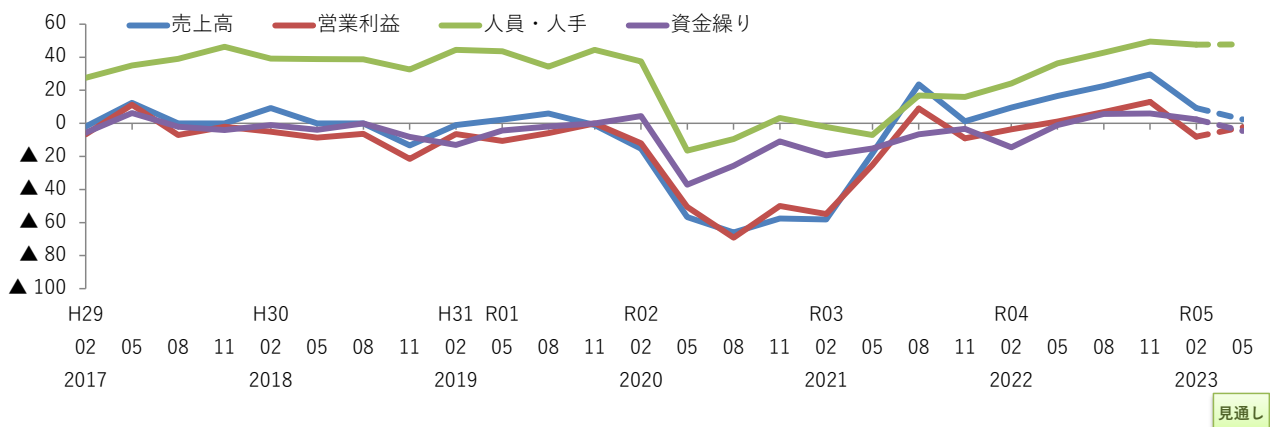
「自社の業況DI値（前年同期比）」は3.5（前回調査比17.7ポイント下落）と5期ぶりに悪化となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「売上高」「営業利益」「資金繰り」の3項目で悪化となり、「営業利益」はDI値がマイナスに転じた。「人員・人手」は5期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントによると、旅館・ホテル業では、全国旅行支援が追い風となり、宿泊客は増加傾向にあるものの、宴会や婚礼など宿泊以外の部門においては厳しい状況が続いている。また、ウクライナ情勢等の影響による燃料高が、運送業をはじめ、多くの業種で負担となっていることがうかがえる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が0.0（今回調査比3.5ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 11 サービス業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
R 04. 02 (n=83)	▲ 1.2	(10. 1)	▲ 4. 6	9. 6	▲ 3. 6	24. 1	▲ 14. 5
R 04. 05 (n=91)	14. 3	(15. 5)	▲ 26. 6	16. 5	1. 1	36. 3	▲ 1. 1
R 04. 08 (n=89)	19. 1	(4. 8)	7. 7	22. 5	6. 8	42. 7	5. 6
R 04. 11 (n=85)	21. 2	(2. 1)	▲ 4. 5	29. 5	12. 9	49. 4	5. 9
R 05. 02 (n=86)	3. 5 (▲ 17. 7)	▲ 7. 1	9. 3	▲ 8. 1	47. 6	2. 4	
前回調査比	-	-	(▲ 20. 2)	(▲ 21. 0)	(▲ 1. 8)	(▲ 3. 5)	
先行き見通し	0. 0	-	2. 4	▲ 2. 3	47. 7	▲ 4. 7	
今回調査比	(▲ 3. 5)	-	(▲ 6. 9)	(5. 8)	(0. 1)	(▲ 7. 1)	

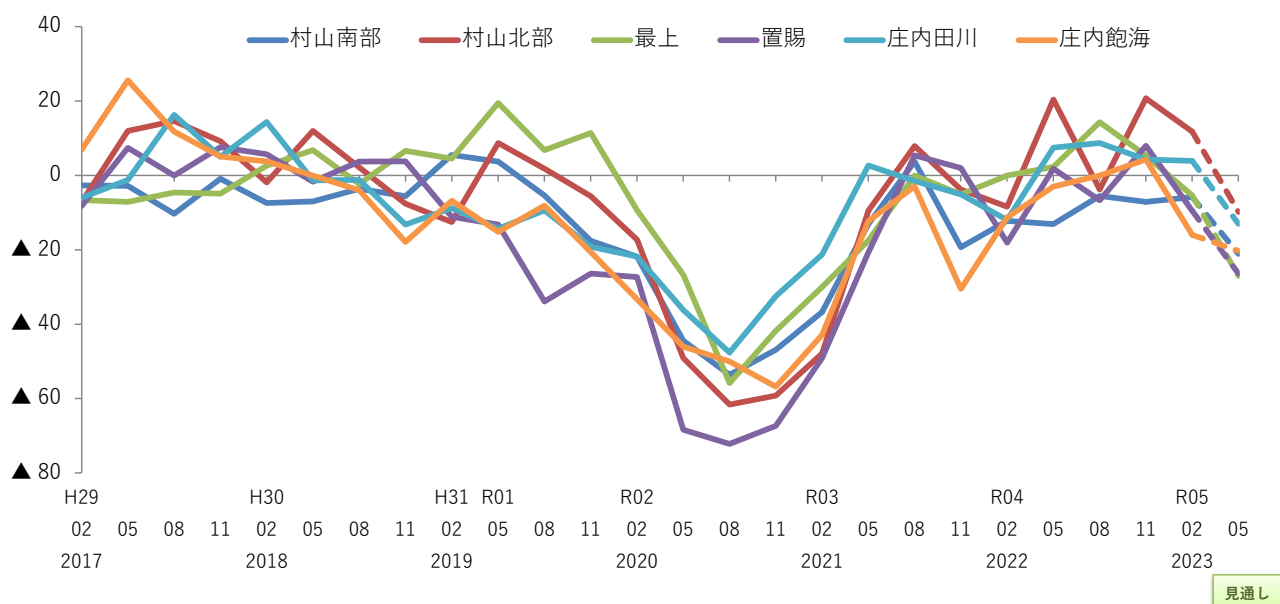
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲5.8（前回調査比 1.3 ポイント上昇）、村山北部が 11.8（前回調査比 8.9 ポイント下落）、最上が▲5.4（前回調査比 10.7 ポイント下落）、置賜が▲9.5（前回調査比 17.5 ポイント下落）、庄内田川が 3.9（前回調査比 0.4 ポイント下落）、庄内飽海が▲16.0（前回調査比 20.3 ポイント下落）と、庄内田川はほぼ横ばい、村山南部は改善、村山北部、最上、置賜、庄内飽海で悪化となった。最上、置賜、庄内飽海の3地域でDI値がマイナスに転じた。

業況の先行き見通しをみると、すべての地域で悪化が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）						
	全地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
R 04. 02 (n=384)	▲ 10. 9	▲ 12. 2	▲ 8. 4	0. 0	▲ 18. 1	▲ 12. 0	▲ 11. 3
R 04. 05 (n=406)	0. 8	▲ 13. 1	20. 4	2. 3	1. 8	7. 5	▲ 3. 0
R 04. 08 (n=390)	0. 3	▲ 5. 5	▲ 3. 8	14. 3	▲ 6. 7	8. 7	0. 0
R 04. 11 (n=379)	4. 2	▲ 7. 1	20. 7	5. 3	8. 0	4. 3	4. 3
R 05. 02 (n=391)	▲ 3. 8	▲ 5. 8	11. 8	▲ 5. 4	▲ 9. 5	3. 9	▲ 16. 0
前回調査比	(▲ 8. 0)	(1. 3)	(▲ 8. 9)	(▲ 10. 7)	(▲ 17. 5)	(▲ 0. 4)	(▲ 20. 3)
先行き見通し	▲ 19. 2	▲ 21. 1	▲ 9. 8	▲ 27. 0	▲ 26. 4	▲ 13. 0	▲ 20. 3
今回調査比	(▲ 15. 4)	(▲ 15. 3)	(▲ 21. 6)	(▲ 21. 6)	(▲ 16. 9)	(▲ 16. 9)	(▲ 4. 3)

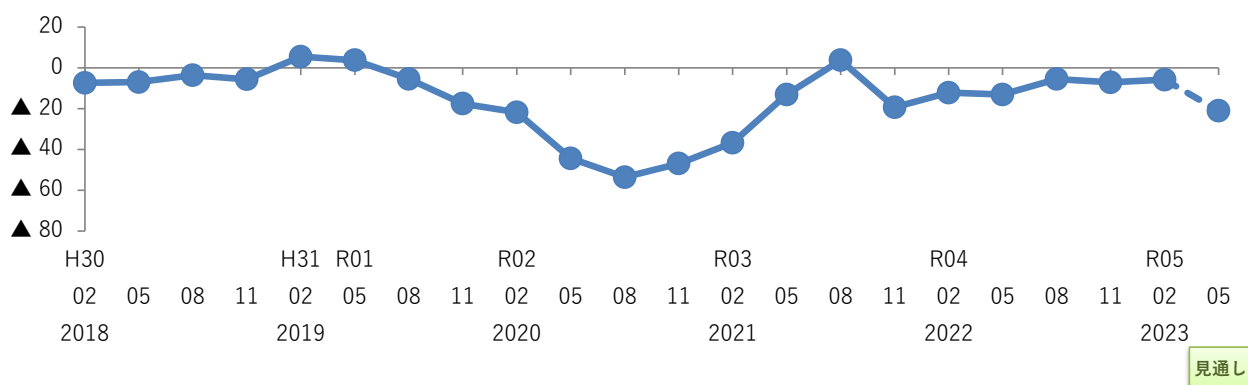
(2) 地域別 D I 値の動向

① 村山南部

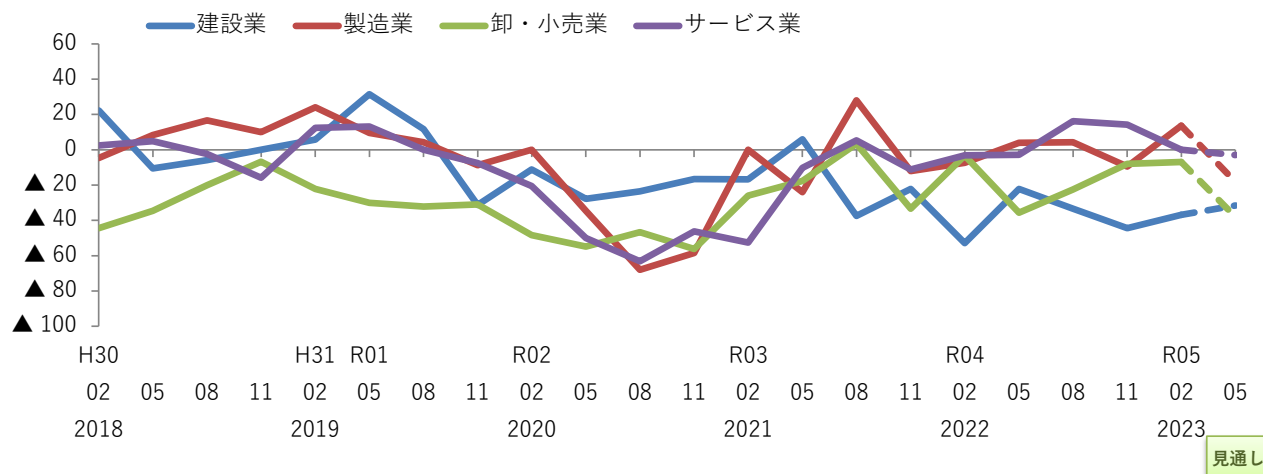
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲5.8（前回調査比 1.3 ポイント上昇）と一進一退の推移となっている。業種別にみると、サービス業で悪化、その他の 3 業種で改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲21.1（今回調査比 15.3 ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。

図表 13 村山南部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 14 村山南部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

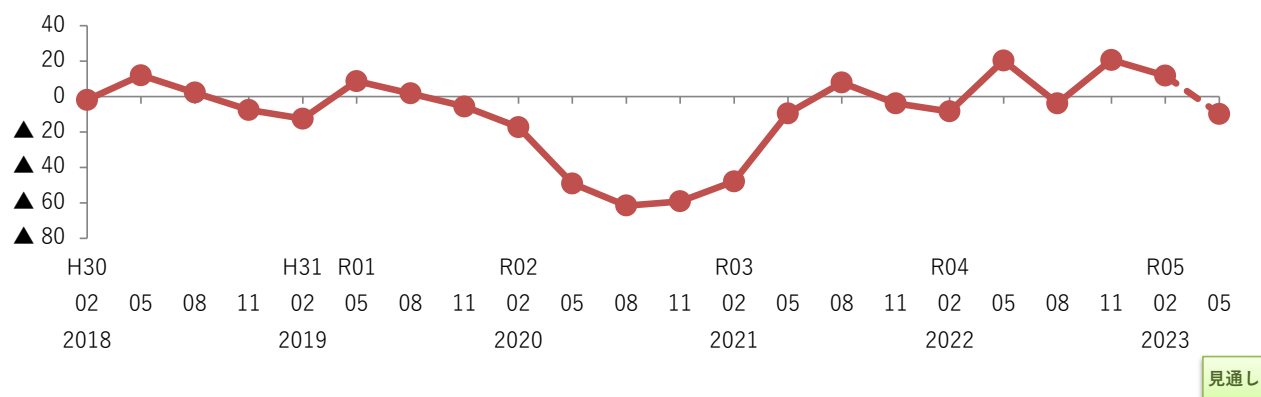
村山南部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 04. 02 (n=107)	▲ 12.2	(7.1)	▲ 18.3	▲ 52.9	▲ 7.4	▲ 3.3	▲ 3.2
R 04. 05 (n=107)	▲ 13.1	(▲ 0.9)	▲ 27.1	▲ 22.2	4.0	▲ 35.7	▲ 2.8
R 04. 08 (n=110)	▲ 5.5	(7.6)	▲ 19.7	▲ 33.3	4.2	▲ 22.5	16.2
R 04. 11 (n=99)	▲ 7.1	(▲ 1.6)	▲ 20.0	▲ 44.4	▲ 9.5	▲ 8.0	14.3
R 05. 02 (n=104)	▲ 5.8	(1.3)	▲ 20.2	▲ 36.9	13.7	▲ 6.9	0.0
前回調査比	-	-	-	(7.5)	(23.2)	(1.1)	(▲ 14.3)
先行き見通し	▲ 21.1	-	-	▲ 31.5	▲ 18.2	▲ 38.0	▲ 3.0
今回調査比	(▲ 15.3)	-	-	(5.4)	(▲ 31.9)	(▲ 31.1)	(▲ 3.0)

② 村山北部

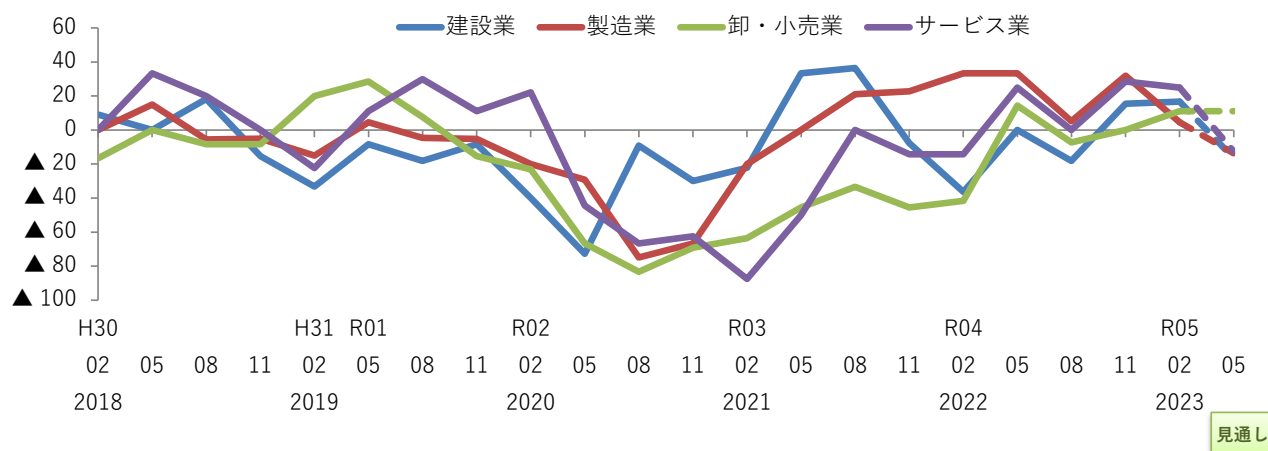
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 11.8（前回調査比 8.9 ポイント下落）と一進一退の推移となっている。業種別にみると、建設業と卸・小売業は改善、製造業とサービス業は悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲9.8（今回調査比 21.6 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 15 村山北部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 16 村山北部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

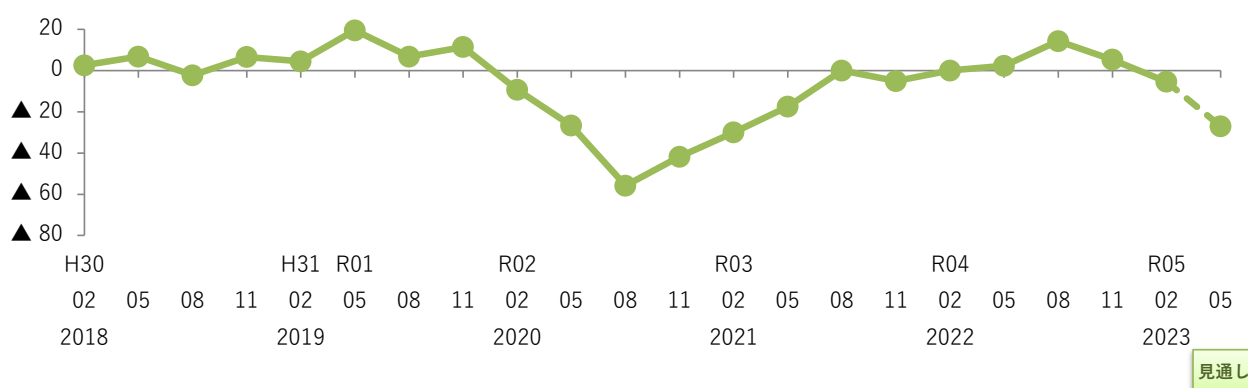
村山北部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 04. 02 (n=48)	▲ 8.4	(▲ 4.6)	3.8	▲ 36.4	33.4	▲ 41.7	▲ 14.3
R 04. 05 (n=54)	20.4	(28.8)	▲ 22.9	0.0	33.3	14.3	25.0
R 04. 08 (n=53)	▲ 3.8	(▲ 24.2)	11.1	▲ 18.2	5.2	▲ 7.2	0.0
R 04. 11 (n=53)	20.7	(24.5)	▲ 11.4	15.4	31.9	0.0	28.5
R 05. 02 (n=51)	11.8	(▲ 8.9)	▲ 9.4	16.7	4.5	11.1	25.0
前回調査比	-	-	-	(1.3)	(▲ 27.4)	(11.1)	(▲ 3.5)
先行き見通し	▲ 9.8	-	-	▲ 16.6	▲ 13.6	11.1	▲ 12.5
今回調査比	(▲ 21.6)	-	-	(▲ 33.3)	(▲ 18.1)	(0.0)	(▲ 37.5)

③ 最 上

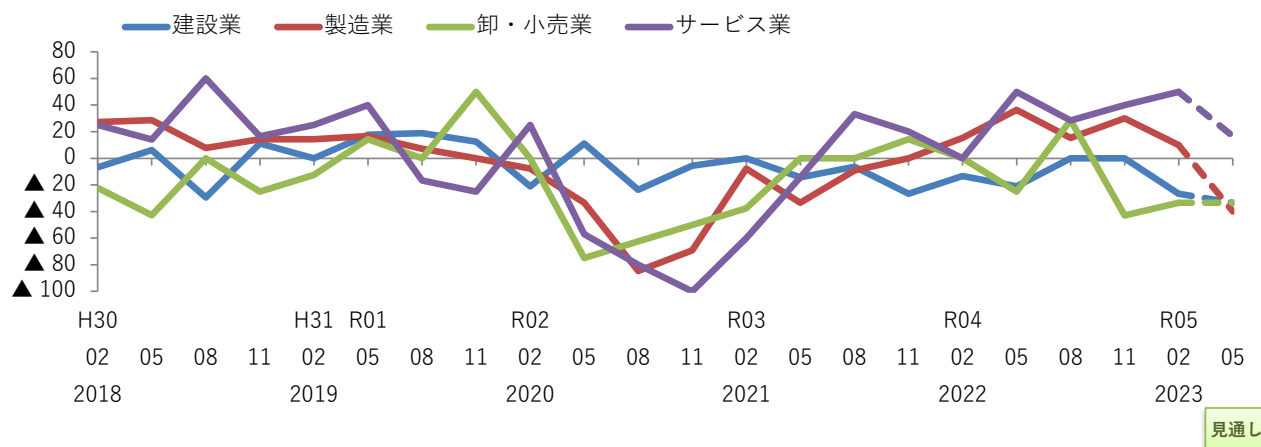
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲5.4（前回調査比 10.7 ポイント下落）と 2 期連続の悪化となり、マイナスに転じた。業種別にみると、卸・小売業とサービス業で改善となったものの、建設業と製造業で大幅な悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲27.0（今回調査比 21.6 ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。

図表 17 最上「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 18 最上「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

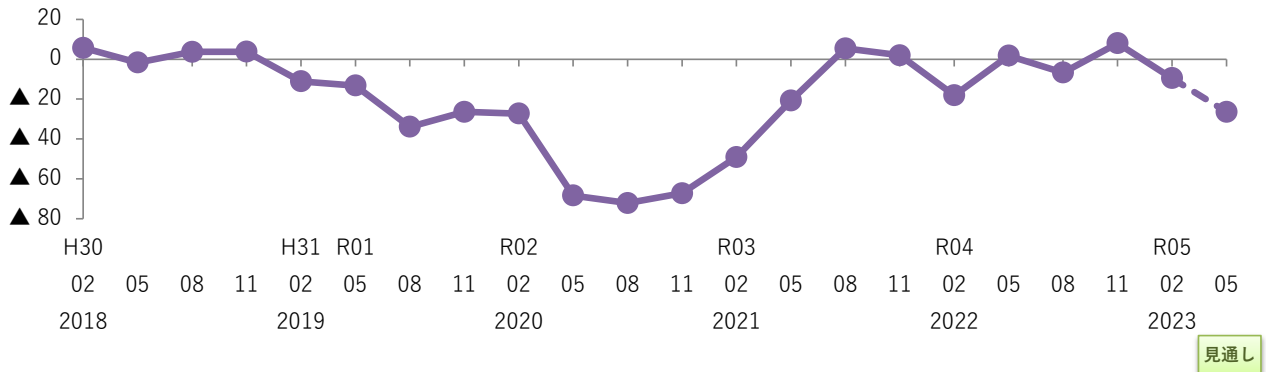
最 上 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建 設	製 造	卸・小売	サービ
R 04. 02 (n=39)	0.0	(5.1)	▲ 7.7	▲ 13.3	15.4	0.0	0.0
R 04. 05 (n=44)	2.3	(2.3)	▲ 15.4	▲ 21.0	36.4	▲ 25.0	50.0
R 04. 08 (n=42)	14.3	(12.0)	▲ 6.8	0.0	15.4	28.6	28.5
R 04. 11 (n=38)	5.3	(▲ 9.0)	▲ 7.2	0.0	30.0	▲ 42.9	40.0
R 05. 02 (n=37)	▲ 5.4	(▲ 10.7)	▲ 23.6	▲ 26.7	10.0	▲ 33.3	50.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 26.7)	(▲ 20.0)	(9.6)	(10.0)
先行き見通し	▲ 27.0	-	-	▲ 33.4	▲ 40.0	▲ 33.3	16.6
今回調査比	(▲ 21.6)	-	-	(▲ 6.7)	(▲ 50.0)	(0.0)	(▲ 33.4)

④ 置 賜

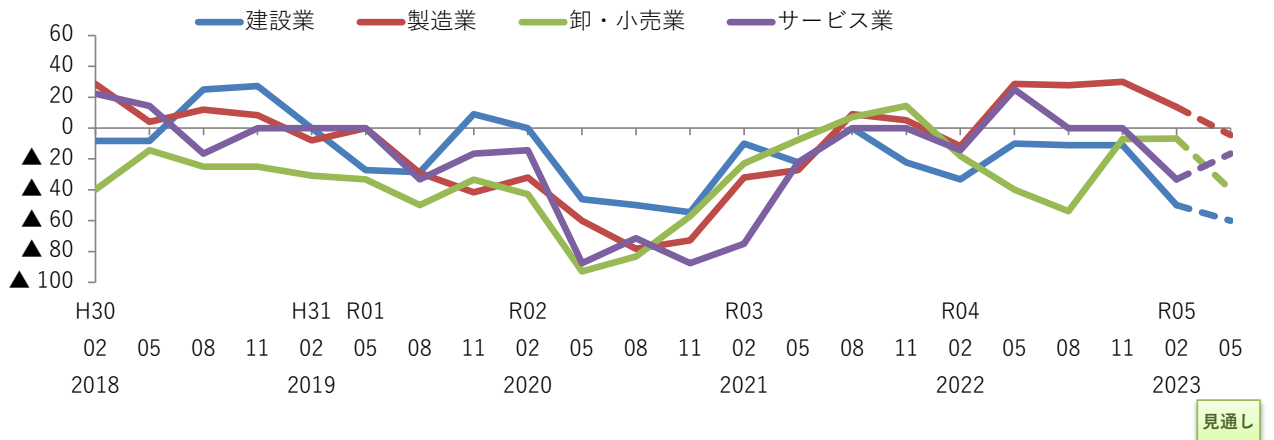
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲9.5（前回調査比 17.5 ポイント下落）と大幅に悪化し、マイナスに転じた。業種別にみると、卸・小売業で小幅ながら改善となったものの、その他の3業種で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲26.4（今回調査比 16.9 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 19 置賜「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 20 置賜「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

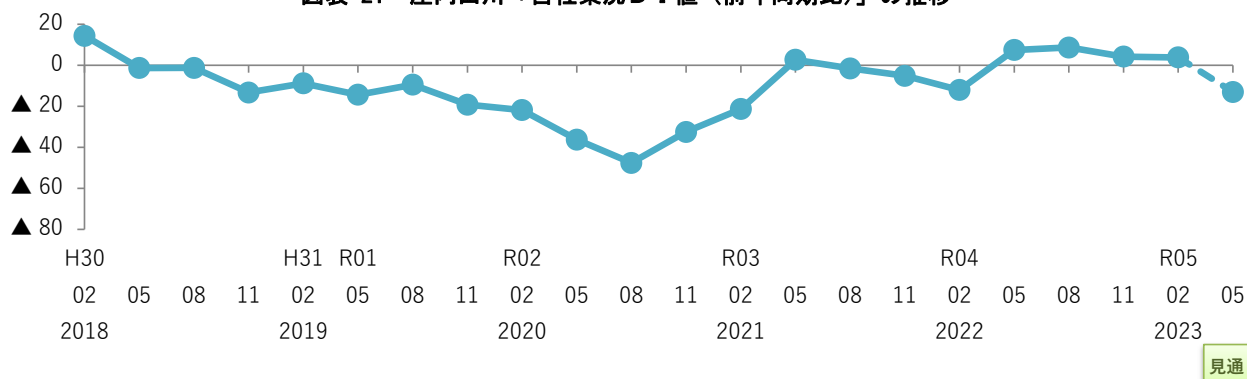
置 賜 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建 設	製 造	卸・小売	サービ
R 04. 02 (n=44)	▲ 18.1	(▲ 20.1)	▲ 24.5	▲ 33.3	▲ 11.8	▲ 18.2	▲ 14.3
R 04. 05 (n=54)	1.8	(19.9)	▲ 43.1	▲ 10.0	28.6	▲ 40.0	25.0
R 04. 08 (n=45)	▲ 6.7	(▲ 8.5)	▲ 25.9	▲ 11.1	27.8	▲ 53.8	0.0
R 04. 11 (n=50)	8.0	(14.7)	▲ 13.3	▲ 11.1	30.0	▲ 7.2	0.0
R 05. 02 (n=53)	▲ 9.5	(▲ 17.5)	▲ 12.0	▲ 50.0	13.6	▲ 6.7	▲ 33.3
前回調査比	-	-	-	(▲ 38.9)	(▲ 16.4)	(0.5)	(▲ 33.3)
先行き見通し	▲ 26.4	-	-	▲ 60.0	▲ 4.5	▲ 40.0	▲ 16.6
今回調査比	(▲ 16.9)	-	-	(▲ 10.0)	(▲ 18.1)	(▲ 33.3)	(16.7)

⑤ 庄内田川

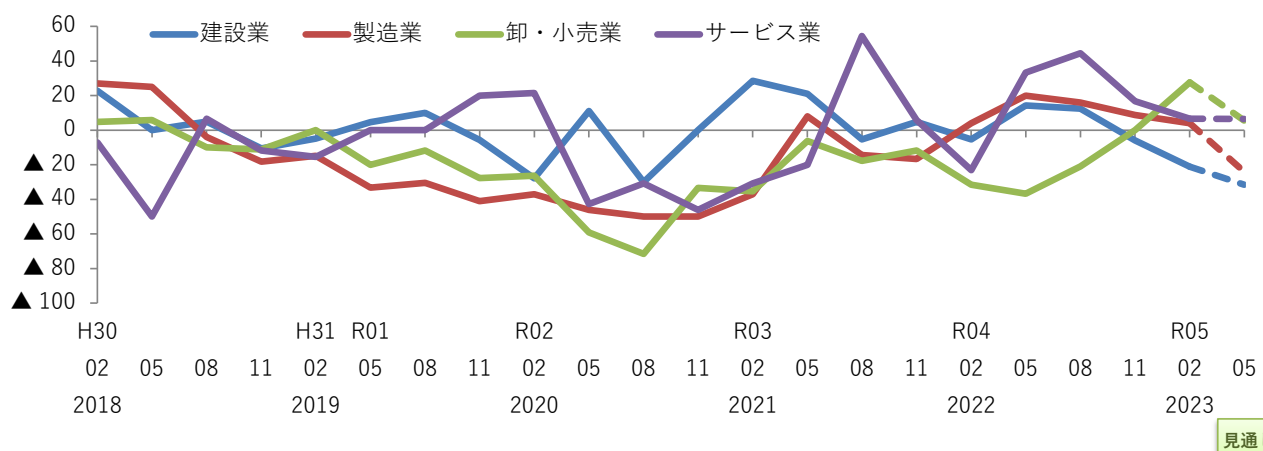
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 3.9（前回調査比 0.4 ポイント下落）とほぼ横ばいの推移となっている。業種別にみると、卸・小売業は改善となったものの、その他の 3 業種で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲13.0（今回調査比 16.9 ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。

図表 21 庄内田川「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 22 庄内田川「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

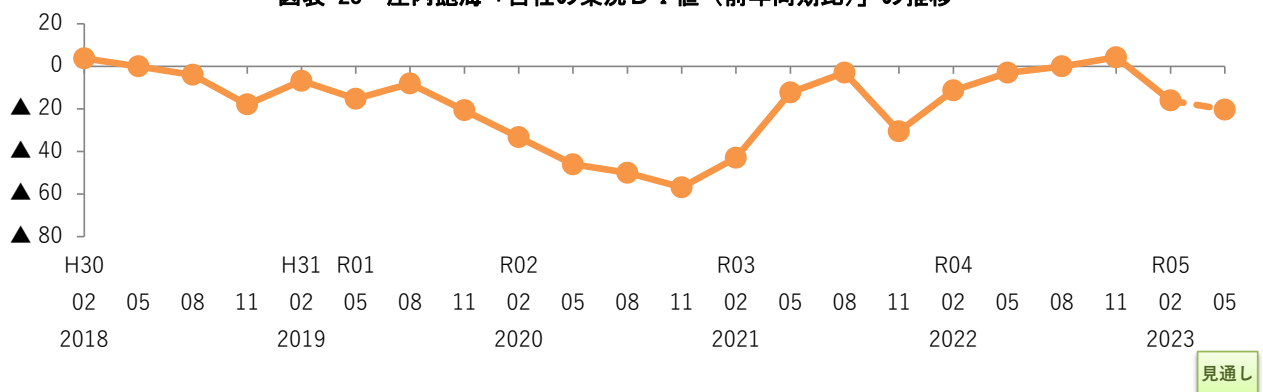
庄内田川 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 04. 02 (n=75)	▲ 12.0	(▲ 6.9)	3.8	▲ 5.3	4.1	▲ 31.6	▲ 23.1
R 04. 05 (n=80)	7.5	(19.5)	▲ 40.0	14.3	20.0	▲ 36.8	33.3
R 04. 08 (n=69)	8.7	(1.2)	0.0	12.5	16.0	▲ 21.0	44.5
R 04. 11 (n=70)	4.3	(▲ 4.4)	▲ 11.6	▲ 5.9	8.7	0.0	16.7
R 05. 02 (n=77)	3.9	(▲ 0.4)	▲ 2.8	▲ 21.1	4.0	27.7	6.7
前回調査比	-	-	-	(▲ 15.2)	(▲ 4.7)	(27.7)	(▲ 10.0)
先行き見通し	▲ 13.0	-	-	▲ 31.6	▲ 24.0	5.5	6.6
今回調査比	(▲ 16.9)	-	-	(▲ 10.5)	(▲ 28.0)	(▲ 22.2)	(▲ 0.1)

⑥ 庄内飽海

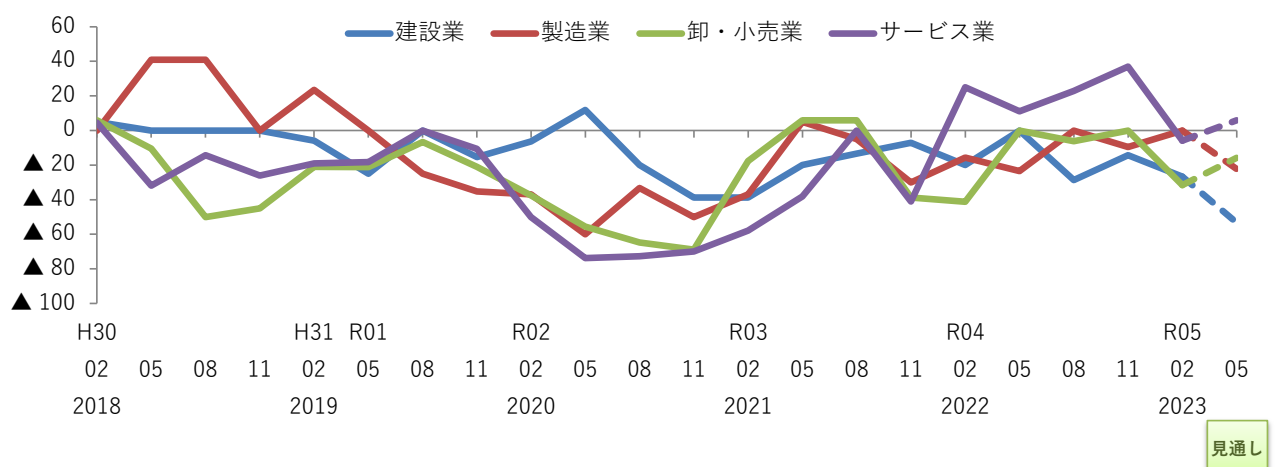
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲16.0（前回調査比 20.3 ポイント下落）と 5 期ぶりの悪化となり、マイナスに転じた。業種別にみると、製造業で改善となったものの、その他の 3 業種で悪化となり、サービス業は D I 値がマイナスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲20.3（今回調査比 4.3 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 23 庄内飽海「自社の業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 24 庄内飽海「業種別・自社の業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

庄内飽海 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 04. 02 (n=71)	▲ 11.3	(19.2)	▲ 8.7	▲ 20.0	▲ 15.7	▲ 41.2	25.0
R 04. 05 (n=67)	▲ 3.0	(8.3)	▲ 22.5	0.0	▲ 23.5	0.0	11.1
R 04. 08 (n=71)	0.0	(3.0)	▲ 16.4	▲ 28.6	0.0	▲ 6.2	22.8
R 04. 11 (n=69)	4.3	(4.3)	▲ 14.1	▲ 14.3	▲ 9.5	0.0	36.9
R 05. 02 (n=69)	▲ 16.0	(▲ 20.3)	▲ 16.0	▲ 26.7	0.0	▲ 31.6	▲ 5.9
前回調査比	-	-	-	(▲ 12.4)	(9.5)	(▲ 31.6)	(▲ 42.8)
先行き見通し	▲ 20.3	-	-	▲ 53.3	▲ 22.2	▲ 15.8	5.9
今回調査比	(▲ 4.3)	-	-	(▲ 26.6)	(▲ 22.2)	(15.8)	(11.8)

II. 景気天気予報図

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
$D \geq 30$	$30 > D \geq 10$	$10 > D \geq \Delta 10$	$\Delta 10 > D \geq \Delta 30$	$\Delta 30 > D$



今期の概況

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

来期の見通し

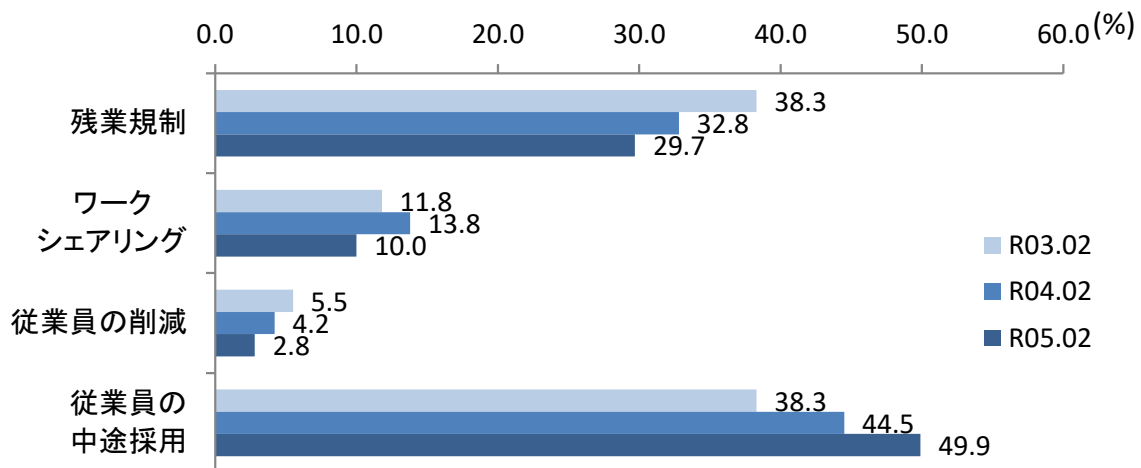
	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

III. 特別調査

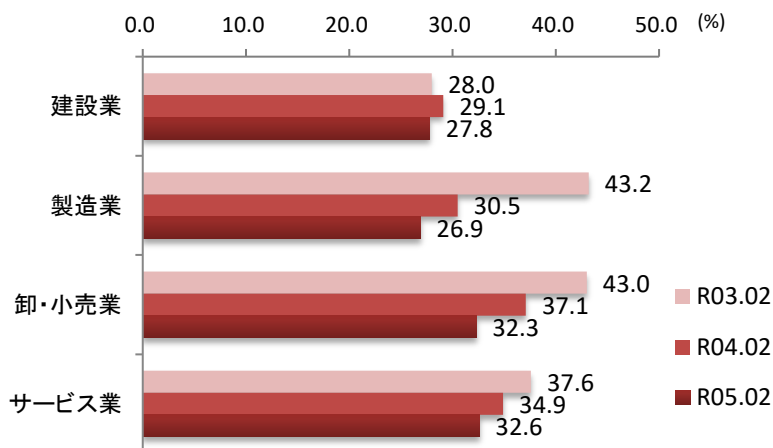
1. 雇用調整について

令和 4 年度に実施した（あるいは実施している）雇用調整について尋ねたところ、「残業規制」が 29.7%（昨年比 3.1 ポイント低下）、「ワークシェアリング」が 10.0%（昨年比 3.8 ポイント低下）、「従業員の削減」が 2.8%（昨年比 1.4 ポイント低下）、「従業員の中途採用」が 49.9%（昨年比 5.4 ポイント上昇）と、昨年に比べ、「残業規制」「ワークシェアリング」「従業員の削減」の割合は低下し、「従業員の中途採用」の割合は上昇した。

図表 25 雇用調整の実施状況

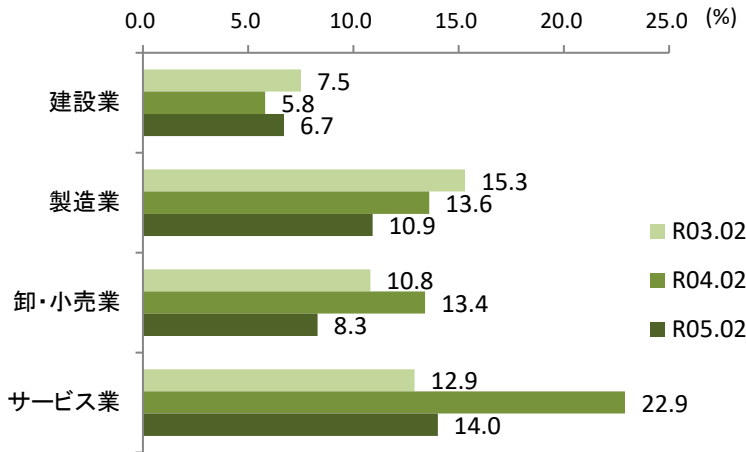


図表 26 業種別「残業規制」の実施状況



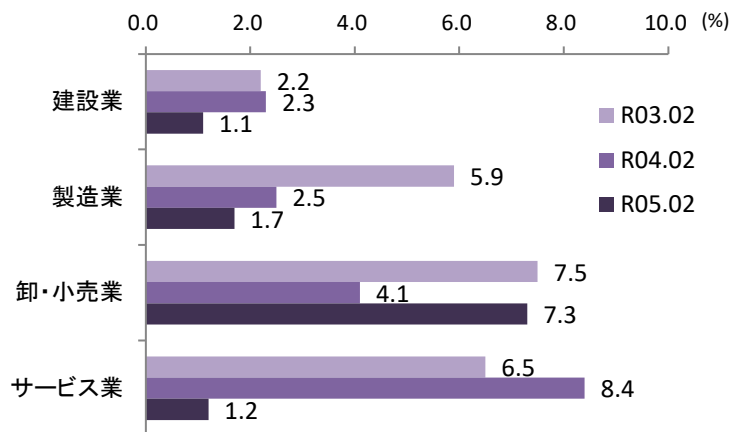
「残業規制」の実施割合を業種別にみると、昨年に比べ、すべての業種で低下となった。

図表 27 業種別「ワークシェアリング」の実施状況



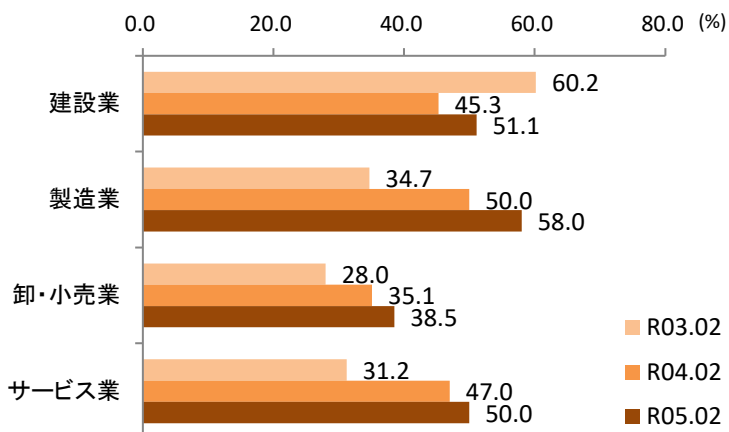
「ワークシェアリング」の実施割合を業種別にみると、昨年に比べ、建設業で上昇となった一方、製造業、卸・小売業、サービス業で低下となった。

図表 28 業種別「従業員の削減」の実施状況



「従業員の削減」の実施割合を業種別にみると、昨年に比べ、卸・小売業で上昇となった一方、建設業、製造業、サービス業で低下となった。

図表 29 業種別「従業員の中途採用」の実施状況

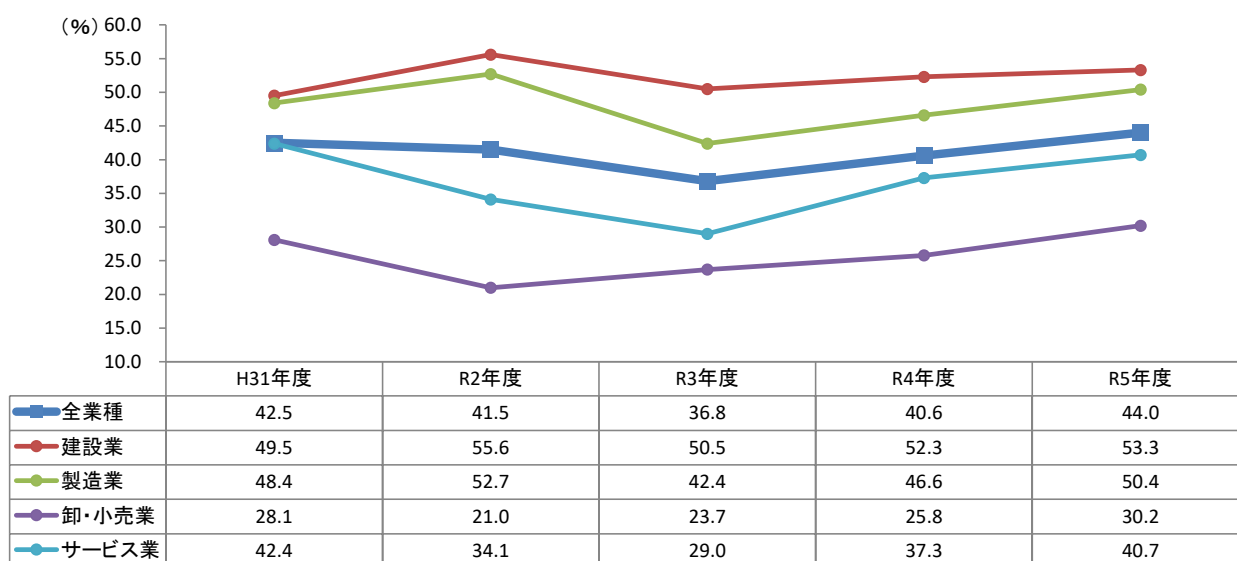


「従業員の中途採用」の実施割合を業種別にみると、すべての業種で上昇となった。

2. 新卒者の採用状況について

来年度（令和 5 年度）の新卒者の採用状況（採用するかどうか）について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種でみると 44.0%（昨年調査比 3.4 ポイント上昇）と 2 年連続で上昇となった。業種別にみると、建設業が 53.3%（昨年調査比 1.0 ポイント上昇）、製造業が 50.4%（昨年調査比 3.8 ポイント上昇）、卸・小売業が 30.2%（昨年調査比 4.4 ポイント上昇）、サービス業が 40.7%（昨年調査比 3.4 ポイント上昇）と、2 年続けてすべての業種で上昇となった。

図表 30 業種別「新卒者の採用状況」の推移



<参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	22	33	43	51	149
村山北部	20	31	17	16	84
最 上	21	18	10	17	66
置 賜	23	27	25	12	87
庄内田川	29	37	28	28	122
庄内飽海	33	32	31	36	132
合 計	148	178	154	160	640

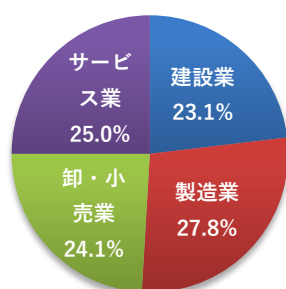
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	19	22	29	34	104
村山北部	12	22	9	8	51
最 上	15	10	6	6	37
置 賜	10	22	15	6	53
庄内田川	19	25	18	15	77
庄内飽海	15	18	19	17	69
合 計	90	119	96	86	391

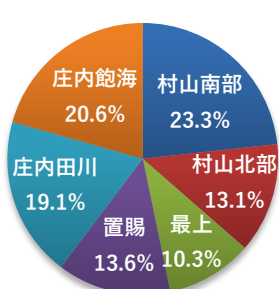
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	86.4	66.7	67.4	66.7	69.8
村山北部	60.0	71.0	52.9	50.0	60.7
最 上	71.4	55.6	60.0	35.3	56.1
置 賜	43.5	81.5	60.0	50.0	60.9
庄内田川	65.5	67.6	64.3	53.6	63.1
庄内飽海	45.5	56.3	61.3	47.2	52.3
合 計	60.8	66.9	62.3	53.8	61.1

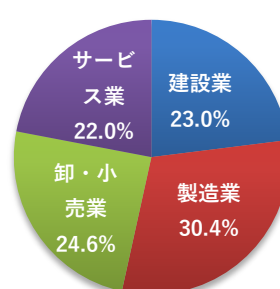
サンプル割合（業種別）



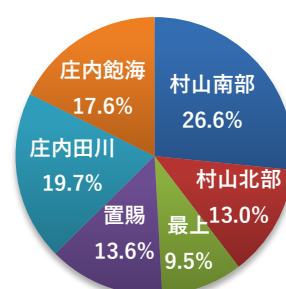
サンプル割合（地域別）



回答社割合（業種別）



回答社割合（地域別）



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部 F A X を利用）

● 調査期間

令和 5 年 2 月 1 日（水）～15 日（水）

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最 上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置 賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採用している。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている

項 目	選択肢 (択一方式)
自社の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない 2. ちょうどよい 3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった 2. さほど変わらない 3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
製 (商) 品の仕入価 (卸・小売業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採用している

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り

例) 自社の業況 D I 値

= (「1. 良い」と回答した企業の割合) - (「3. 悪い」と回答した企業の割合)

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する

<お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (https://www.fir.co.jp/report/report_y_keiki) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社 フィデア情報総研

リサーチ&コンサルティング事業本部 熊本 均 / 手塚 綾子

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-2 1 荘銀山形ビル 8 F

TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038

E-mail : kenkyuu@fir.co.jp URL : <https://www.fir.co.jp/>